第12章 仮定法



- 仮定法
  - 直説法と仮定法 P.269…F149
  - 現在のことを表す仮定法（仮定法過去） P.270…F150
  - 過去のことを表す仮定法（仮定法過去完了） P.271…F151
    - if 節と主節で時制が異なる場合 P.272…F152
  - 未来のことを表す仮定法 P.273…F153
    - 〈If S' were to ＋動詞の原形〉
    - 〈If S' should ＋動詞の原形〉
  - wish を使った仮定法 P.274…F154
    - 〈wish ＋仮定法過去〉
    - 〈wish ＋仮定法過去完了〉
  - as if を使った仮定法 P.276…F155
    - 〈as if ＋仮定法過去〉
    - 〈as if ＋仮定法過去完了〉
  - その他の表現
    - if の省略（倒置） P.278…F156
    - if を使わない仮定法
      - 副詞（句）で仮定を表す P.278…F157
      - 主語が仮定を表す P.280…F158
      - 不定詞・分詞構文で仮定を表す P.280…F159
    - 動詞の原形を使う仮定法（仮定法現在） P.282…F160
  - 仮定法を使った構文 P.283

直説法と仮定法

直説法



If I **am** late, I **will call** you.
（もし遅れたら，君に電話するよ。）

- 動詞や助動詞が現在形
- 「遅れる」可能性がある

仮定法



If I **were** a bird, I **would** fly to you.
（もし僕が鳥なら，君のところに飛んでいくのに。）

- 動詞や助動詞が過去形
- 「鳥である」可能性はゼロ

Focus 149



日本語の「もし」は英語で If ですよね。使い方に違いはあるのですか？



英語では，事実に反することや，実際には起こりそうにないことは，If に続く動詞や助動詞を過去形にして表現します。これが仮定法です。一方，事実や実際に起こり得ることは，動詞や助動詞を現在形にして直説法で表します。



「もし遅れたら…」というのは仮定の話ではないのですか。



「起こる可能性があるかどうか」が直説法と仮定法の分かれ目です。仮定法を使うのは「ありえない話」をするときだと覚えておきましょう。



仮定法の場合，I が主語なのに be 動詞は were になっています。was ではないのですか。



1 人称・3 人称単数の場合，口語では was になることもありますが，仮定法では基本的に，主語の人称に関係なく were になります。

We could never learn to be brave and patient, if there were only joy in the world.
— Helen Keller

Focus 149 直説法と仮定法

1. **If** it **rains** tomorrow, I **will stay** home. 403
   もし明日，雨が降れば，私は家にいます。
2. **If** I **lived** near the sea, I **could go** swimming every day. 404
   もし海の近くに住んでいれば，毎日泳ぎに行けるのに。

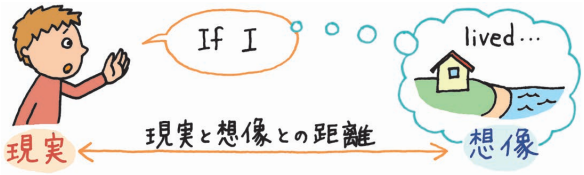
直説法	実際に起こり得ること（現実と想像との距離はゼロ） **If** it **rains** tomorrow, I **will stay** home. 現在形
仮定法	現実に反すること（現実と想像との距離がある） **If** I **lived** near the sea, I **could go** swimming every day. 過去形 実際は：I don't live near the sea, so I can't go swimming every day.

現実か想像か

1 と 2 の文を比べると，1 は「雨が降った場合」という現実に起こるかもしれない話であり，2 は「もし海の近くに住んでいれば」という想像の話である。
英語の場合は現実か想像かを区別し，**「想像である」ことを時制をずらして表現する。**このときの動詞の形が**仮定法**である。なお，**実際に起こり得ること**を述べるときに使う動詞の形を**直説法**と呼ぶ。

注意 事実かどうか，起こり得るかどうかは話し手の判断次第である。

1. 「明日，実際に雨が降る可能性がある」と話し手が思っている場合は，直説法を使う。when や if など，時や条件を表す副詞節の中では，未来のことであっても現在形で表すので，rains と現在形になっている（⇒Focus 032）。
2. if 節には**過去形**の lived，主節には could という**助動詞の過去形**が使われている。「海の近くに住んでいた」と過去のことを述べているわけではなく，「（現在，海の近くに住んではいないが）海の近くに住んでいれば…」と現実に反することを想像して述べている。仮定法の過去形は時間的な距離ではなく，「現実」と「想像」との距離を表している。



もしこの世界に喜びしかなければ，我々は決して勇気も忍耐も学べないことになる。
ーヘレン・ケラー

Focus 150　現在のことを表す仮定法（仮定法過去）

1. **If I *were*** free, I **could go** with you.　405
   暇があれば，君と一緒に行けるのに。
2. **If I knew** his phone number, I **would call** him.　406
   彼の電話番号を知っていれば，彼に電話するのに。

仮定法過去

「もし（今）～ならば，…だろうに」と**現在の事実と違うこと，実際には起こり得ないこと**を述べる場合，過去形が使われる。これを**仮定法過去**と呼ぶ。形は過去であるが，現在のことを表す。仮定法過去の形は次のようになる。

① if 節の動詞には**過去形**を用いる。be 動詞の場合，普通は **were** になる。
② 主節には**助動詞の過去形**が使われる。それぞれ次のような意味になる。

would（…だろうに），**could**（…できるのに），**might**（…かもしれないのに）

▶ **If** you **tried** harder, you **might solve** the problem.
（もっとがんばれば，その問題が解けるかもしれないのに。）

Focus 150 | 151

仮定法過去：「もし（今）～ならば，…だろうに」

If ＋ S′ ＋ 過去形 ，S ＋ would / could / might ＋ 動詞の原形 .
（if 節）　（主節）

参考　《英》では主節に should が使われることもある。文語的表現。

1. 現在形の否定文を使って，「現実」を次のように表すことができる。
   → I am not free, so I can't go with you.
   （暇がないので，君と一緒に行けない。）

Plus　仮定法の文で，1 人称・3 人称単数の場合，口語では was が用いられることが多い。
＝If I **was** free, I could go with you.

2.「現実」は次のように表すことができる。
   → I don't know his phone number, so I don't call him.
   （彼の電話番号を知らないので，電話しない。）

注意　if 節は後ろに置くこともできる。
Sally **would be** pleased **if** she **were** here now.
（サリーが今ここにいれば喜ぶだろうに。）

If Cleopatra's nose had been shorter, the whole face of the world would have been changed. – Blaise Pascal

Focus 151　過去のことを表す仮定法（仮定法過去完了）

1. **If I had been** free, I **could have gone** with you. 407
   暇があったなら，君と一緒に行けたのに。
2. **If I had known** his phone number, I **would have called** him. 408
   彼の電話番号を知っていたなら，彼に電話したのに。

仮定法過去完了

「**もし（あの時）～だったなら，…だっただろうに**」と**過去の事実と違うこと，実際には起こらなかったこと**を述べる場合，時制を過去よりさらに過去にずらして，過去完了形が使われる。これを**仮定法過去完了**と呼ぶ。
仮定法過去完了は「あの時～だったら…していたのだが」という**後悔**や**弁解**などを表すことが多い。仮定法過去完了の形は次のようになる。

① if 節の動詞は**過去完了形**〈**had＋過去分詞**〉を用いる。
② 主節には〈**would [could, might]＋have＋過去分詞**〉がくる。

仮定法過去完了：「もし（あの時）～だったなら，…だっただろうに」

If ＋ S′ ＋ 過去完了形 ， S ＋ would / could / might ＋ have ＋ 過去分詞 .
（if 節）　（主節）

1. 過去形の否定文を使って，「現実」を次のように表すことができる。
   → I wasn't free, so I couldn't go with you.
   （暇がなかったので，君と一緒に行けなかった。）
2. 「現実」は次のように表すことができる。
   → I didn't know his phone number, so I didn't call him.
   （彼の電話番号を知らなかったので，電話しなかった。）

Plus α

仮定法の時制イメージ

現実と想像との距離を過去形という手段で表す仮定法は，現実の時制より１つ過去にずらしたものを使う。**現在のことであれば過去形，過去のことであれば過去完了形で表す。**



クレオパトラの鼻がもう少し低かったら，世界の歴史は変わっていただろう。
―ブレーズ・パスカル

Focus 152　if 節と主節で時制が異なる場合

If he **had joined** the team, he **would be** a star now. 409

そのチームに入っていたなら，今ごろ彼はスターになっているだろうに。

if 節は仮定法過去完了，主節は仮定法過去

if 節は過去の事実と違うことを，主節は**現在の事実と違うこと**を述べる。「**もし**（あの時）**～だったなら**，（今）**…だろうに**」の意味になる。

if 節は仮定法過去完了，主節は仮定法過去：「もし（あの時）～だったなら，（今）…だろうに」

If + **S′** + 過去完了形 , **S** + would / could / might + 動詞の原形 + **now** など.

if 節（過去のこと）　主節（今のこと）

if 節は had joined と過去完了になっている。一方，主節は would be となっており，過去形である。つまり，仮定法過去と仮定法過去完了が混ざった形になっている。このとき，if 節には「あの時」を表す then，主節には「今」を表す now などの時を表す副詞を伴うことが多い。

Focus 152 – 153

「現実」は次のように表すことができる。

▶ He didn't join the team, so he isn't a star now.
（彼はそのチームに入らなかったので，彼は今スターではない。）

Plus α

if 節は仮定法過去，主節は仮定法過去完了

if 節が過去も現在も変わらず事実ではないことであり，主節は過去の事実と違うことを述べる場合，if 節は仮定法過去，主節は仮定法過去完了になる。

If I **were** you, I **would have accepted** the offer then.

if 節（過去も現在も変わらず事実ではないこと）　主節（過去の事実と違うこと）

（もし私があなたなら，その時，その申し出を受けたのに。）

「私があなたではない」というのは過去も現在も変わらず事実ではないことなので，主節が仮定法過去完了（過去の事実と違うこと）であっても，if I were you と過去形で表すのが普通。

ただし，主節の時制に合わせた if I had been you が使われることもある。

Focus 153 未来のことを表す仮定法

1. **If you were to write a book, what would it be about?** 410
   仮にあなたが本を書くとしたら，何についての本ですか。
2. **If he should change his mind, he would let us know.** 411
   万一，気が変われば，彼は私たちに知らせるだろう。

〈If S′ were to＋動詞の原形〉

1.「仮に～するとしたら」という意味で，**実現の可能性がゼロの場合から，実現の可能性がある場合まで，話者のさまざまな想定を表す。**

未来のことを表す仮定法：「仮に～するとしたら」

If＋S′＋ were to ＋ 動詞の原形 ， S＋ would / could / might ＋ 動詞の原形 .

（if 節 ／ 主 節）

〈If S′ should＋動詞の原形〉

2.「**万一～すれば**」という意味で，**実現の可能性が極めて低い場合**に用いられる。「まずあり得ないだろうが」という意味が含まれる。

- What **will** you do **if** you **should** fail the exam?
  （万一，試験に落第したらどうしますか。）
- If I **should** be late, **don't wait** for me.
  （万一，私が遅れたら，待たなくていいです。）

未来のことを表す仮定法：「万一～すれば」

If＋S′＋ should ＋ 動詞の原形 ， S＋ would / could / might / will / can / may ＋ 動詞の原形 .

（if 節 ／ 主 節）

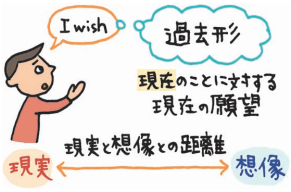
注意 実現の可能性がまったくない仮定には使わない。
If I were a bird, I would fly to you. × *If I should be a bird.*
（万一，鳥になったら，あなたのところに飛んで行くのに。）

Focus 154　wish を使った仮定法

1. I **wish** I **knew** his phone number. 412
   彼の電話番号を知っていればなあ。
2. I **wish** I **had studied** more. 413
   もっと勉強していたらなあ。

〈wish＋仮定法過去〉

wish に続く節で仮定法過去を用いると，「**〜であればよいのに**」という**現在の事実に反したり実現が困難な願望**を表す。I wish に続く節の時制を過去にずらすことで，「現在の事実とは異なる」ということを表している。この表現には「残念だ」という話し手の気持ちが含まれる。



wish＋仮定法過去：「〜であればよいのに」

S wish S′ ＋ 過去形 .

参考　wish の後に続く節に could や would が使われることがある。
I **wish** I **could stay** longer.（もっと長くいられたらなあ。）
I **wish** you **would help** me.（あなたが手伝ってくれたらいいのですが。）

Focus 154

1. 彼の電話番号を知らないので，「知っていたらいいのに」と思っている。「思っている」のも「知らない」のも現在のことである。
   I **wish** I **knew** his phone number.　［仮定法］
   → **I'm sorry** I **don't know** his phone number.　［直説法］
   （彼の電話番号を知らなくて残念だ。）

〈wish＋仮定法過去完了〉

wish に続く節で仮定法過去完了を用いると，「**〜だったらよかったのに**」という**過去において実現しなかったことへの願望**を表す。



wish＋仮定法過去完了：「〜だったらよかったのに」

S wish S′ ＋ 過去完了形 .

2. あまり勉強をしなかったので，「もっと勉強していたらよかったのに」と思っている。「思っている」のは現在で「勉強しなかった」のは過去のこと。
   I **wish** I **had studied** more.　［仮定法］
   → **I'm sorry** I **didn't study** more.　［直説法］
   （もっと勉強をしなかったことが残念だ。）

質問箱 Q&A

Q 次の 2 つの文の違いは何ですか。
(1) I wish I could go. (2) I hope I can go.

A 行くことができる可能性の高さが違います。
wish と hope はどちらも「望む」という意味ですが，wish は後ろに仮定法が続き，「実現困難な願望」を表します。hope は後ろに直説法が続き，「可能性があると信じている願望」を表します。
(1)は「行くことができればなあ」という意味になり，「実際は，行けないのですが」と続くようなニュアンスがあります。 (2)は行ける可能性は十分あることを表し，「行ければいいと思っています」という意味になります。

Plus α

過去完了形は時制の「ズレ」を表す

wish を使った仮定法では，願う時点と願望の実現の時点が「同時」の場合には，wish に続く節では過去形(仮定法過去)が用いられる。一方，願う時点よりも願望の実現の時点が前の場合には，時制の「ズレ」を表すのに，wish に続く節では過去完了形(仮定法過去完了)が用いられる。

(1) I wish I **knew** his address. ［**仮定法過去**］
「今」彼の住所を**知っていれば**と「今」願う。(同時)
(2) I wish I **had known** his address. ［**仮定法過去完了**］
「過去」に彼の住所を**知っていたら**と「今」願う。(ズレ)
(3) I wished I **knew** his address. ［**仮定法過去**］
「過去」に彼の住所を**知っていれば**と「過去」に願った。(同時)
(4) I wished I **had known** his address. ［**仮定法過去完了**］
「過去のさらに過去」に彼の住所を**知っていたら**と「過去」に願った。(ズレ)

(1)と(2)では現在形の wish が使われ，wish に続く節の「知っていれば」には過去形，「知っていたら」には過去完了形が用いられている。
(3)と(4)では wished が使われ，「願った」のが過去のこととなる。(3)のように「願った」時点と「知っていれば」が同時のことであれば，過去に対する願望でも wish に続く節では過去形が用いられる。一方，(4)のように「願った」時点よりも「知っていたら」がさらに過去のことであれば，時制の「ズレ」を表すために，wish に続く節では過去完了形が用いられる。

Focus 155　as if を使った仮定法

1. He treats me **as if** I **were** a little child.　414
   彼はまるで私を幼い子どものように扱う。
2. I feel **as if** I **had had** a horrible nightmare.　415
   私はまるで恐ろしい悪夢でも見たかのような気分だ。

〈as if＋仮定法過去〉

1. as if の節で**仮定法過去**を用いると，「**まるで〜のように**」という**事実とは異なる状況や空想**を表す。

as if＋仮定法過去：「まるで〜のように」

S ＋ 動詞 ＋ as if S′ ＋ 過去形 **.**

〈as if＋仮定法過去完了〉

2. as if の節で仮定法過去完了を用いると，「**まるで〜したかのように**」という**主節の時制よりも前の事実とは異なる状況や空想**を表す。

Focus 155

as if＋仮定法過去完了：「まるで〜したかのように」

S ＋ 動詞 ＋ as if S′ ＋ 過去完了形 **.**

Plus α

その他 as if の用法

(1) as if は **as though** を用いても同じ意味を表すことができる。
1. He treats me **as if** I **were** a little child.
＝He treats me **as though** I **were** a little child.
2. I feel **as if** I **had had** a horrible nightmare.
＝I feel **as though** I **had had** a horrible nightmare.

(2) as if の後に to 不定詞を置き，**as if to *do*** の形もある。
He shook his head **as if to** say no.（彼はノーと言うかのように首を振った。）
また，口語では as if の代わりに like が用いられることもある。
I acted **like** I couldn't hear them.
（私は彼らの言っていることが聞こえないふりをした。）

(3) 口語では **as if** [**though**] の後に直説法を用いることがある。特に，話し手が**実際に起こり得る**と考えている場合には直説法となることが多い。
She looks **as if** [**though**] she **is** sick.（彼女は病人のようだ。）

Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.
－Mahatma Gandhi

Plus α

過去完了形は主節と as if の節の時制の「ズレ」を表す

wish を使った仮定法と同様に，as if を使った仮定法では，主節と as if の節の時制の組み合わせは以下のようになる。

(1) He looks as if he **were** ill. ［**仮定法過去**］
「今」**病気であるように**「今」見える。（同時）

(2) He looks as if he **had been** ill. ［**仮定法過去完了**］
「過去」に**病気であったように**「今」見える。（ズレ）

(3) He looked as if he **were** ill. ［**仮定法過去**］
「過去」に**病気であるように**「過去」に見えた。（同時）

(4) He looked as if he **had been** ill. ［**仮定法過去完了**］
「過去のさらに過去」に**病気であったように**「過去」に見えた。（ズレ）

(1)と(2)は主節の時制は「見える」と現在形であり，as if の節の「病気であるように」には過去形，「病気であったように」には過去完了形が用いられている。
一方，(3)と(4)は主節の時制は「見えた」と過去になっている。この場合，「見えた」と「病気であるように」が同時のことであれば，as if の節では過去形が用いられる。「見えた」よりも「病気であったように」がさらに過去のことであれば，時制の「ズレ」を表すために，as if の節では過去完了形が用いられる。

入試に Challenge

下の語句を並べかえて文を完成させ，A，B に入れるものの番号を答えなさい。

I didn't tell Mr. Yamamoto anything about the project, (　　) (A) (　　) (B) (　　) about it.

① all　② as though　③ but　④ he knew　⑤ he spoke

訳　私はその計画について山本さんには何も言わなかったが，彼はそれについてすべてを知っているかのように話した。

Point　as though の後には事実と異なることがくる。（but he spoke as though he knew all）

解答　A ⑤　B ④

Focus 156 if の省略（倒置）

1. **Were** I rich, I **could buy** the car. 416
   もしお金持ちなら，その車が買えるのに。
2. **Had** I **been** rich, I **would have bought** the car. 417
   もしお金持ちだったなら，その車を買ったのに。
3. **Should** you change your mind, please let me know. 418
   万一，気が変われば，私に知らせてください。

〈(助)動詞＋主語〉の語順になる

if が省略されると〈(助)動詞＋主語〉の語順（疑問文と同じ語順）になる。倒置は特に書き言葉で用いられ，仮定の意味が強調される。

1. *If* **I were** rich, I **could buy** the car.
   → **Were I** rich, I **could buy** the car.
2. *If* **I had been** rich, I **would have bought** the car.
   → **Had I been** rich, I **would have bought** the car.
3. *If* **you should** change your mind, please let me know.
   → **Should you** change your mind, please let me know.

Focus 156 | 157

!注意 if が省略されるのは，上記のように were, should,〈had＋過去分詞〉の場合が多い。
If I **knew** his phone number, I would call him.
× *Knew I his phone number, I would call him.*

Focus 157 if を使わない仮定法①：副詞（句）で仮定を表す

1. **Without** your help, I **would** not **be** able to do this job. 419
   あなたの助けがなければ，私はこの仕事ができないだろう。
2. **With** a little more money, I **could buy** another coat. 420
   もう少しお金があれば，コートをもう 1 着買えるのに。
3. We know Jim very well; **otherwise** we **would** not **trust** him. 421
   私たちはジムのことをとてもよく知っている。そうでなければ彼を信用したりしないだろう。
4. **In your place**, I **would have done** the same thing. 422
   もしあなたの立場だったなら，私も同じことをしただろう。

〈without＋名詞〉「～がなければ」

1. **without** は「～がない」という意味で，文頭で(代)名詞と共に用いることで if 節と同じ働きをする。主節の動詞が仮定法過去の場合は「(今)**～がなければ**」，仮定法過去完了の場合は，「(あの時)**～がなかったなら**」の意味になる。
   ▸ **Without** his advice, we **could**n't **have won** the game.
   (彼の忠告がなかったら，私たちは試合に勝てなかっただろう。)

注意 without は前置詞なので，後ろに節は置けない。without ～の部分には動詞が含まれないので，現在のことか過去のことかは主節の時制から判断する。

Plus 〈**if it were not for** ～〉でも同じ内容を表すことができる(⇒ p.283)。
1. ＝**If it were not for** your help, I **would** not **be** able to do this job.

参考 〈**but for** ～〉も同じ意味を表す。文語的表現(⇒ p.283)。

〈with＋名詞〉「～があれば」

2. **with** は without とは反対の意味をもち，「(今)**～があれば**」ということを表す。
   ＝**If** I **had** a little more money, I **could buy** another coat.
   主節が仮定法過去完了の場合は，「(あの時)**～があったなら**」になる。
   ▸ **With** a little more time, I **could have finished** the work.
   (もう少し時間があったならば，その仕事を終えることができたのに。)

otherwise「そうでなければ」

3. **otherwise** は「そうでなければ」という意味を表す副詞で，直前に述べられている事実に反する仮定を表す。主節が仮定法過去の場合，「(今)**そうでなければ**」という意味になる。
   この文では「私たちはジムをよく知っている」という事実に対し，otherwise 1 語で「彼のことをよく知らなければ」という現在の事実に反することを仮定している。
   ＝**If** we **didn't** know Jim very well, we **would** not **trust** him.
   仮定法過去完了の場合「(あの時)**そうでなければ～しただろう**」の意味になる。
   ▸ Lisa told me that day was Sally's birthday. **Otherwise**, I **would have missed** it. (リサはその日がサリーの誕生日だと教えてくれた。そうでなければ忘れてしまっていただろう。)

参考 **実際に起こり得る**ことを表す場合は，otherwise の後に直説法が用いられる(⇒ p.535)。
I have to go to bed; **otherwise I'll be** late tomorrow.
(もう寝ないと。そうでなければ明日遅刻してしまう。)
「遅刻する」ことは実際に起こり得ると話し手は考えているため，will が使われている。

in your place「もしあなたの立場なら」

4. **in your place**「**もしあなたの立場なら**」が if 節の代わりをしている。
   ＝**If** I **had been** in your place, I **would have done** the same thing.

友人がいなければ，誰も生きることを選ばないだろう。たとえ，ほかのあらゆるものが手に入っても。
ーアリストテレス

Focus 158　if を使わない仮定法②：主語が仮定を表す

An honest man wouldn't **do** such a thing.　423

正直な男性ならばそんなことはしないだろう。

主語が仮定の意味を表す「〜であれば」

一見 if 節のない普通の文に見えるが，would が用いられており，現在の事実に反する仮定を表している。この文では「**〜であれば**」の意味を表す。

＝**If** he **were** an honest man, he **would**n't **do** such a thing.

Focus 159　if を使わない仮定法③：不定詞・分詞構文で仮定を表す

1. **To hear** her speak, you **would think** she was from Tokyo.　424

彼女が話すのを聞くと，東京出身だと思ってしまうだろう。

2. **Given** the chance, I **would study** abroad.　425

チャンスを与えられたら，海外に留学するのに。

Focus 158 | 159

不定詞で仮定を表す

1. 不定詞句の To hear her speak が仮定を表している（⇒ p.146 Plus α）。

＝**If** you **heard** her speak, you **would think** she was from Tokyo.

分詞構文で仮定を表す

2. 分詞構文の Given the chance が仮定を表している。文語的表現。

＝**If** I **were given** the chance, I **would study** abroad.

Plus　given は「〜ということを考えれば」という意味で前置詞・接続詞的に用いられることがあり，その場合は直説法になる。

Given his age (that he is over 70), he's unusually active.

（彼の年（彼は 70 を超えていること）を考えれば，とても活動的だ。）

Plus　**suppose** [**supposing**, **provided**, **providing**] (that)を使って if の意味を表すことができる。ただし，supposed という形はない（⇒Focus 111, p.364 CROSSOVER）。

Supposing (that) you **were** wrong, what **would** you **do**?

（もしあなたが間違っているなら，どうしますか。）

参考　if 節や if 節の代わりをする表現がない仮定法も多い（⇒p.101 CROSSOVER）。

You **could see** her today (if you wished).

（[あなたが望むなら]今日，彼女に会えますよ。）

I **should have called** you.（あなたに電話すべきだった[のにしなかった]。）

質問箱 Q&A

Q Could I ～? などの助動詞の過去形も仮定法ですか。

A Could I ～?(許可を求める)や Could you ～?(依頼を表す)などの助動詞の過去形を使った表現も仮定法と考えることができます。ここでは Can I ～? との違いを考えながら Could I ～? について見てみましょう。

(1) **Can I** use your dictionary**?**

(2) **Could I** use your dictionary**?**

(2)の Could I ～? は，(1)の現在形の Can I ～? より丁寧な表現です。could を使った文は「(私があなたの辞書を使うことは実際には難しいと思うのですが)もしかしたら使ってもいいですか。」という，できないことを前提にしているからです。このように尋ねられたほうが相手は断りやすく，義務感が小さくなります(⇒p.101 CROSSOVER)。

Can I ～? と Could I ～? には，このような「丁寧度」の違いがありますので，基本的には，相手との間柄に応じて使い分けるとよいでしょう。

(1)は家族や友人など親しい間柄で使われ，「あなたの辞書を使ってもいい？」という感じのカジュアルな表現です。

(2)はそれほど親しくない間柄で使われ，「あなたの辞書を使ってもよろしいでしょうか。」という控え目な表現になります。

また，Could I ～? と尋ねられて，それに対して許可の返答をする場合，could ではなく，can を用いて答えましょう。could で答えた場合，「もしかしたらできるかもしれないけど…」というニュアンスを帯びて，許可を与えているのか与えていないのかがあいまいになるためです。



入試に Challenge

(　　)に入る適切なものを選びなさい。

(　　) his advice, we would never have finished the work on time.

① Accepted　② Excluding　③ Not for　④ Without

訳　彼の忠告がなかったら，私たちは時間通りに仕事が終わらなかっただろう。

Point　仮定法過去完了の文。〈would have＋過去分詞〉になっていることに注目する。

解答 ④

仮定法現在

提案・命令・要求・主張を表す動詞や，**必要性**や**重要性**を表す形容詞に続く **that 節の中の動詞は原形**になる。that 節以下の内容は「実際にはまだ行われていない」という仮定の内容になっている。この用法を**仮定法現在**と呼ぶ。

Focus 160　動詞の原形を使う仮定法

1. I **suggest** that we **wait** and **see**. 426
   様子を見てみるのがよいと思います。
2. It's **necessary** that he **go** there. 427
   彼はそこに行く必要がある。

提案・命令・要求・主張を表す動詞を用いた仮定法現在

1. suggest（提案する）の目的語となる that 節中の動詞 wait と see が原形になっている。

注意 that 節中の主語が he などの 3 人称単数であっても，動詞の原形を用いる。
I **suggest** that Paul **wait** and **see**.（ポールは様子を見てみるのがよいと思います。）

Focus 160

仮定法現在が用いられる「提案・命令・要求・主張」を表す動詞

- ☐ **demand**（～を要求する）
- ☐ **insist**（～を要求する）
- ☐ **order**（～を命令する）
- ☐ **propose**（～を提案する）
- ☐ **recommend**（～を勧める）
- ☐ **request**（～を頼む）
- ☐ **require**（～を必要とする）
- ☐ **suggest**（～を提案する）

▸ We **demanded** that the lawyer **show** us the file.
（我々は弁護士にそのファイルを見せるように求めた。）
▸ He **insists** that Meg **be** present.（彼はメグが出席することを要求している。）
▸ I **recommend** that you **eat** more vegetables.
（もっと野菜を食べるようお勧めします。）

必要性・重要性を表す形容詞を用いた仮定法現在

2. that 節中の動詞 go が原形になっている。

仮定法現在が用いられる「必要性・重要性」を表す形容詞

- ☐ **desirable**（望ましい）
- ☐ **essential**（不可欠である）
- ☐ **important**（重要である）
- ☐ **necessary**（必要である）

▸ It is **important** that you **be** here.（あなたがここにいるのが重要だ。）

Plus 1. 2. については，〈should＋動詞の原形〉が使われることもある（⇒p. 105 CROSSOVER）。
I **suggest** that we **should wait** and **see**.
It's **necessary** that he **should go** there.

仮定法を使った構文

1 If it were not for ～ もし～がなければ

If it were not for your help, I would not be able to do this job.
あなたの助けがなければ，私はこの仕事ができないだろう。 428

without ～，**but for** ～でも表すことができる(⇒Focus 157)。
＝**Without** [**But for**] your help, I would not be able to do this job.
仮定法過去完了の文では，**if it had not been for ～** になる。

▸ **If it had not been for** your help, I would not have been able to do this job.
(あなたの助けがなかったなら，私はこの仕事ができなかっただろう。)

注意 肯定形の × *if it were for* ～ という表現はない。

2 If only … …でさえあればなあ

If only I **were** rich! 私がお金持ちでありさえすればなあ。 429

I wish で書きかえることができるが，if only のほうが強い願望を表す。
＝I **wish** I **were** rich.
〈**if only＋仮定法過去完了**〉で「(あの時)**～でさえあったらなあ**」

▸ If only I **had studied** more! (もっと勉強しておけばなあ。)

Plus 主節が付いて「**ただ～さえすれば**」の意味で用いられることもある。
If only you listen to this song, you will know why I like this singer.
(この歌を聞きさえすれば，どうして私がこの歌手が好きなのかわかります。)

3 It's time＋仮定法過去 もう～してよいころだ

It's time you **went** to bed. もう寝る時間だよ。 430

to 不定詞を使ってほぼ同じ内容を表すことができる。
＝**It's time** for you **to go** to bed.
仮定法の場合，不定詞と異なり，「(実際は違うが)そうなっているべきだ」というニュアンスから「遅すぎる」と相手を非難する意味合いを持つ。

Plus time の前に **about** を付けると「**そろそろ～してもよいころだ**」，**high** を付けると「**とっくに～する時間だ**」という意味になる。
It's about time you **cleaned** your room.
(君はそろそろ部屋を掃除してもよいころだよ。)
It's high time we **went** home. (もうとっくに家に帰っているべき時間だ。)

4 as it were いわば

He is, **as it were**, a Japanese Edison. 彼はいわば日本のエジソンだ。 431

▸ The actor is, **as it were**, a living legend.
（その俳優はいわば生きている伝説だ。）

文の途中か文末に置く。so to speak のほうがよく使われる（⇒Focus 097）。

▸ He is, **so to speak**, a walking dictionary.（彼はいわば生き字引だ。）

5 would rather＋仮定法過去 （むしろ）～してほしい

I'd **rather** you **stayed** here. あなたにここにいてほしいのですが。 432

would rather *do* は「（…するよりも）むしろ～したい」という意味の表現（⇒ p.114）。would rather の後ろに節を続ける場合は仮定法過去が使われる。形は過去形でも過去の意味ではないことに注意。

▸ "May I take a picture here?" "**I'd rather** you **didn't**."
（「ここで写真を撮ってもいいですか。」「できれば撮らないでいただきたい。」）

入試に Challenge （　）に入る適切なものを選びなさい。

(1) If it were not for the rain, we (　　) hiking today.
① can go ② would go ③ may well go ④ were able to go

(2) David was badly injured in the accident. If only he had left home five minutes earlier, he (　　) involved in it.
① was ② was not ③ would have been ④ would not have been

訳 (1) 雨が降っていなければハイキングに行くのに。 (2) デイビッドは事故でひどいけがをした。5 分早く家を出てさえいれば，巻き込まれずに済んだのに。

Point (1) if it were not for ～ は「もし～がなければ」の意味。if 節は仮定法過去で，主節も today があり，現在のことを述べていることがわかる。 (2) if only は「～でさえあれば」という意味で，仮定法と共に使われる。「もう 5 分早く家を出てさえいれば～」という前半に続くものを考える。

解答 (1) ② (2) ④